

# デジタルメ古河市議会

## 議会は、市民の利害代弁者でないのか！

議会での「議事進行」は、文字通り議会運営を進める事です。ところが、一般質問の途中で、突然赤坂議員が「議事進行・・・秋庭議員の発言の市長のタイ旅行は、タイへの研修旅行と答弁を求めるように・・・？」。

私の一般質問項目は、赤坂議運委員長が事前に審査・了承したものです。それに異議を唱えて一般質問を中断させました。

タイ旅行では、都合悪いのか、議長と赤坂議員が共謀、議場にこっそり進入、議事妨害！

同区は、介護事業所や障がい者施設を利用している感染リスクの高い入所者への感染を未然に防ぎ

けました。同区は、介護事業所や障がい者施設を利用している感染リスクの高い入所者への感染を未然に防ぎ

握し対策して施設を休まず運営が継続できるように社会的検査をしてください。最大限、運営継続の支援

検査で多数の無症状感染者が判明したことにより保坂区長は「友症状に転化して感染が広がらないように（感染状況を）把握し対策して施設を休まず運営が継続できるように社会的検査をしてください。最大限、運営継続の支援

※この記事は、しんぶん赤旗・日刊の11月17日付けから転載しました。

# いつでも、誰でも、何度でも・PCR検査

## 一般質問＝安心・安全な市政に「世田谷方式」の検討を！

# あきば繁の市政報告

2021年4月  
N.O.30  
発行者 秋庭 繁  
茶屋新田71-4  
0280(48)2139  
あきば繁のH・P

### 養育的で消極的な針谷市長

#### 「安心・安全」は、どこへ 危機管理意識が問われる！！

針谷市長は答弁で、「古河市全体の感染率は低く、封じ込めに成功している」「新型コロナウイルスの感染者は数の上では県内3番目だが、人口10万人当たりでは8番目、人数比では16番目です。発症率では境町が2番、五霞町が3番です」と、答弁し、市民の「安心」担保に楽観的な姿勢を示しました。発症率2番、3番

に隣り合わせの古河市も大変と思わないのか。危機管理の欠如と言われても仕方がない認識の答弁です。

#### PCR検査否定 国・県任せの コロナ対策

またPCR検査について「検査そのものの安全性、感染症を防いでいるかと言わない」と、PCR検査の必要性を否

## 社会的検査で感染判明

### 東京・世田谷区 特養職員10人無症状

東京都世田谷区の保坂展人区長は、16日、記者会見し、新型コロナウイルス感染症対策として区内の介護事

務所に集団的に行っているPCR検査（社会的検査）で、13、14両日に受検した特養ホーム職員61人のうち10人が陽性だったと発表しました。

いずれも無症状。同施設によると入所者にも有症状者はおらず、検査結果を受けて16日、入居者97人と残りの職員65人全員がPCR検査を受けました。

検査で多数の無症状感染者が判明したことにより保坂区長は「友症状に転化して感染が広がらないように（感染状況を）把握し対策して施設を休まず運営が継続できるように社会的検査をしてください。最大限、運営継続の支援

検査で多数の無症状感染者が判明したことにより保坂区長は「友症状に転化して感染が広がらないように（感染状況を）把握し対策して施設を休まず運営が継続できるように社会的検査をしてください。最大限、運営継続の支援

古河市は国民健康保険証の取上げが370名です。国民健康保険証は、市民の命を守る最後の砦です。資格証では、窓口で全額払わなければなりません。病気になるっても病

保険証取上げ  
370名

### 県下一”冷たい古河市？”

院に行くのがためらわれ、重症化してからは手遅れや医療費も高額になります。このことから水戸市や土浦市では資格証を発行していません。針谷市長になって二度の値上げ、保険証取上げも県で一番です。国民皆保険は、日本の優れた制度ではないですか。

最後に「国、県の動向、一定のお金が回って来る段階になれば・・・慎重に対応したい」と、消極的な答弁に終始しました。この答弁から2ヶ月後、感染拡大が急速に増えて、古河市でもクラスターが発

生しています。市長は「古河市独自のコロナ対策は、小児インフルエンザ予防接種助成の増額」だけです。これでは、市民やソーシャル・ワーカーの「不安を少しでも解消したい」という願いに応えることは出来ません。

を「したい」と語りました。

同施設の施設長は、本紙の取材に「職員はこの9ヶ月間、厳しい感染対策を行いました。どこで感染したか不明で大変驚いているが、重傷者が出る前に感染状況が分かったのは良かったと思う。陽性者は休業し自宅かホテルで療養している。関連のデイサービスを休止して職員体制を確保し施設運営を続けたい」と語りました。

一般質問＝4年間の公約達成率を問うと、

# “公約”のスリー0！看板倒れの未達成

## 待機児童ゼロはどうか・・・

市長＝待機児童は減っています。確実に減っています。しかしながら、隠れという数値までは、申し訳ありません。ここでは控えさせて・・・

真っ先に、廃止された古河第一保育所⇒受け皿は、上辺見保育園と民間保育園  
古河駅西口地域から遠く離れた上辺見保育所へ行くのでしょうか。広々とした保育所から園庭のない保育園へ、またお友達と離ればなれになる子どもたちのことを考えたのでしょうか。

民間の保育所は増えても、住んでいる地域から保育所がなくなれば必然的に子育て世代は住みません。  
いま保育料の負担がへれば働きたいと需要が増えているのに大事な公立保育所を廃止していいのか・・・  
古河第五保育所が出来てまちづくりが始まった緑町



子どものいなくなった＝古河第一保育所

は、第五保育所を基点に扇型に町並みが広がっています。保育園の隣はタコ公園、子育て環境は最高です。  
「耐震化」を理由の廃止、取り壊し、古河市には保育

所建て替えの金もないのか？  
次は、関戸保育所の廃止⇒市長曰く、子育て支援やっています。・では、0、1、2才の待機児童は、いつ解消されるのか。

## 医療難民ゼロ？・・・

古河市で、何が医療難民か分からない～保険証取上げで病院にかかれない人のことか？

## 丸投げ！放課後児童クラブ

・・・保護者から心配と怒りのメール！・・・

説明会では、小学校などで勤務経験がある職員が施設を巡回するので安心です。研修も沢山やるので保育の質が向上するなど口先だけで何もやっていないと思います。  
市役所に話しても何の解決にもならない事と事業者に対して指導も行わないと思うので、是非秋庭先生に望みを託したいと思います。  
私たち保護者だけでなく、先生方も会社の代表者の顔を見たことはありません。事実を確認していただきしっかりと運営してくれる事業者が保育は行うべきです。民間が全て悪だと思いません。是非善良な事業者が運営してくれる事を切に願います。学童の先生達からは今年度も特に研修などは実施されていないし、専門職の方の巡回などもないそうです。  
アンフィニーが運営する守谷やつくばみらいは研修やイベントが多いと聞いた事があります。市町村で違いがあるのは何故なのでしょう。  
私は古河市が、バカにされてるとしか思えず、とても悲しい気持ちです。

## 介護待機者ゼロ

市長＝残念なことに数字が横ばいであります。～施設数は増えています。しかし、ベット数が減っている？

介護保険が創設されて20年、3年ごとの改定のたびに値上げされてきました。介護保険料の上昇が止まらない上に、希望しても施設に入らず、待機のままです。  
針谷市長は、  
＜第7期「高齢者いきいきプラン高齢者福祉計画」＞の冒頭で、『安心できる未来と地域づくり』を基本理念に掲げ、あらゆる人が互いに地域で支えるための地域づくりを推進と述べ、また、自立した生活が続けられ・・・、介護予防や健康づくりの充実を図り、日常生活上の支援や地域づくりにおいて、住民の方々が地域を支える担い手として幅広い分野で活躍することができる仕組みを整えてまいり

ます。と、介護を本人の自助、地域の共助を基本にすると公助が消えています。  
自立した生活が出来れば介護保険は必要ありません。保険から外して地域に丸投げでいいのかが問われます。  
古河市の福祉計画は「第1期計画」から「第6期計画」までつくられましたが、その計画のすべてが先送りでした。そして、今度は、地域コミュニティに丸投げです。  
まさに＝保険あって、介護なし＝です。  
**国会審議抜き**  
厚生労働省は、国会に諮らず、介護保険制度改悪を進めようとしています。強権政治そのものです。